

# 来週の「売り物」記事はこれ



2012年10月26日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」

### ラジオ体操に血圧計……さながら健康ランド!?

### 今時のゲームセンターは お年寄りで千客万来

### 朝刊 28日（日）



若者たちのたまり場で、照明は薄暗く、タバコのおいがブンブン……。かつてはそんな画一的なイメージで語られがちだったゲームセンターですが、最近はどうも変わってきたようです。昼間の客のほとんどがお年寄りという店も少なくありません。愛知県稲沢市内のショッピングセンター内にあるゲームセンターもそんな今どきの店の一つです。定時にはラジオ体操の音楽が流れ、

店内には血圧計も備えられています。そして、店に集うお年寄りの一人一人に、それぞれの事情を抱えていました。認知症の夫婦連れ、クレーンゲームにこだわる元土建業の親方……。高齢化率23%という、超高齢社会の等身大の「いま」が見えてきます。



日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

## 連載「体技心」第8部

### 「70歳で新たな挑戦」青木功のゴルフ人生

### 運動面 30日から

名手、青木功プロのゴルフ人生を描く運動面連載「インサイド 体技心」の第8部は、「70歳」を「新たな挑戦の場」と位置づけるプロの闘争心にスポットライトを当てました。今年8月に節目の誕生日を迎えた青木プロの意欲はまだ衰えず、2年ぶりに米シニアツアーに参加し、日本のツアー最高峰「日本オープン」にも4年ぶりに出場しました。体力面で「古い」の現実と直面しながらも、「無理をしないことを覚えた」と新境地を開こうとしています。そんな姿を伝える連載は、30日から5回を予定しています。



## もう一度食べたい

### くらしナビ B面 30日（火）



大ぶりではほぼ五角形の異形の柿「大御所柿」。奈良の柿博物館によると「確かに目録には載っています。その昔、赤穂地方（兵庫県）で作られていた程度しか来歴は分かりません」という幻の柿です。ところが、大阪府箕面市の民家の庭にそびえ立っていることが分かりました。樹齢約70年、幹周り約2.5mの巨木は毎年多くの実をつけているそうです。ミステリアスな柿を追って大阪に飛びました。

## ペットの医療費と動物保険

くらしナビC面 30日 (火)

家族同様に大切なペットがもし病気になったら医療費はいくらかかるのでしょうか。人間のような公的健康保険制度がないため、検査や投薬、手術はすべて飼い主の実費負担です。レントゲン撮影や手術で数万円から数十万円もかかることがあります。そこで動物保険を上手に活用しましょう。月々数千円の負担で医療費の50%~70%程度をカバーできます。専門家は「保険に入っている安心感が治療の選択肢を増やします」とアドバイスしています。



## 「自分に合う」色の選び方は？

くらしナビB面 11月1日 (木)



「自分に合う色を選びましょう」とよく言われますが、何色が合うのかなかなか自分には分からないもの。そこで、シニア世代のファッションアドバイザー佐藤恵子さん=写真=に尋ねました。ポイントは「顔と服が離れて見えないこと」！色の組み合わせ方のコツも合わせて聞きました。おしゃれを楽しめる秋、色使いで自分らしさを演出しましょう。

## シリーズインタビュー「時代を駆ける」

### 海底からのレアアースの採掘を目指す

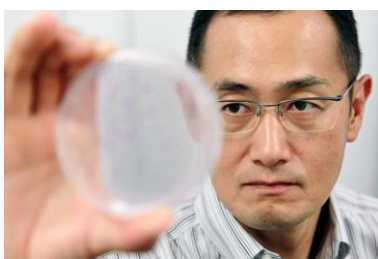
#### 加藤泰浩東大教授

自動車部品やコンピューターなどハイテク製品に欠かせないレアアース（希土類元素）が、日本近海を含む太平洋の広い範囲に眠っていることを明らかにした、東京大学の加藤泰浩教授（51）=写真=。製造業の生命線とも言える資源だけに、採掘へ期待が集まる。他の研究者が見逃した資源の存在に、独自の視点で注目。研究室に放置されていた試料の分析を手がかりに、発見にこぎ着けた。5年で採掘を目指し、日本の活性化につなげたいという意気込みや、研究への情熱に迫る。



## ノーベル賞で後押しなるか iPS細胞、再生医療の産業化

夕刊特集ワイド面 29日 (月)



山中伸弥・京都大教授=写真=のノーベル賞受賞によって再生医療製品を出す企業の株価が大幅に上昇し、日本経済活性化のカギとなると期待を集める。過去を振り返ると、バイオ企業の勢いを材料に株式市場が世界的に盛り上がったケースは2回あった。最初は、遺伝子工学の利用範囲が広がった1980年代のバイオブーム。次はヒトゲノムの解読によりオーダーメイド医療が可能になると持ち上がった00年前後のゲノムブーム。いずれもしばらくしてしぼんでしまった。iPS細胞などによる再生医療ブームが「三度目の正直」となるのか、なるとすればどのような分野が有望なのかを専門家に聞いた。



ベトナム・フエ市内の公園に  
あるファン・ボイ・チャウ像

欧米列強がアジアを植民地化した 100 年ほど前、日露戦争で列強の一角を破った日本に、ファン・ボイ・チャウという一人のベトナム人の若者が訪れた。後にベトナム建国の英雄と呼ばれるチャウは、日本に学ぼうとベトナムから日本に留学生を送り込む東遊運動を進めた。来年の日越国交樹立 40 周年を前にベトナムではチャウの存在が見直され始め、日本語熱も高まっている。過去から現在に続く日越の絆を現地の取材で描く「日越 100 年の絆」を夕刊総合面で連載します。

この「来週の売り物記事」はメールでお送りできます。お気軽にお申し付けください。

販促宣伝部（電話 03-3212-1241） E-mail: [urimono@mainichi.co.jp](mailto:urimono@mainichi.co.jp)